

科目名：応用物性工学

科目英文名：Applied Solid State Chemistry

担当者：辻 幸一

授業（形態）：専門科目（講義）

単位（区分）：2単位（D）

[科目の主題と目標]

無機・有機材料、機能性材料の材料特性と原子分子構造論、物性論との関連について解説し、さらに最近の研究論文、総説、解説を用い演習、討論をおこなう。

この科目は応用化学科の学習教育目標の（D）に関連する。

[授業内容・授業計画]

週1回程度適宜設定し、その年度の授業計画、授業内容及び資料は、一回目の講義の際に配布する。

[教材]

資料は適時配布する。

[受講生へのコメント]

各自の研究に関する討論も適宜行う。

[成績評価の方法及び基準]

与えられた課題に対する発表資料の作成と口頭発表により研究論文の理解の程度(D-1, D-2) (50%)とプレゼンテーション能力(D-3) (50%)を総合的に評価する。また、質疑応答もそれぞれの評価に加味する。

科目名：材料分析工学

科目英文名：Material Analysis

担当者：辻 幸一

授業（形態）：専門科目（講義）

単位（区分）：2単位（D）

[科目の主題と目標]

材料開発に必要となる組成構造解析法について解説し、さらに最近の研究論文、総説、解説を用い化学反応の動的挙動の解析方法や材料特性との関連について演習、討論をおこなう。

この科目は応用化学科の学習教育目標の（D）に関連する。

[授業内容・授業計画]

週1回程度適宜設定し、その年度の授業計画、授業内容及び資料は、一回目の講義の際に配布する。

[教材]

資料は適時配布する。

[受講生へのコメント]

各自の研究に関する討論も適宜行う。

[成績評価の方法及び基準]

与えられた課題に対する発表資料の作成と口頭発表により研究論文の理解の程度(D-1, D-2) (50%)とプレゼンテーション能力(D-3) (50%)を総合的に評価する。また、質疑応答もそれぞれの評価に加味する。